

農業委員会だより

166号

令和8年1月1日発行

発行 / 四日市市農業委員会

編集 / 編集委員会

TEL.059-354-8271



品評会に出品されたシクラメン

令和7年11月27日に、四日市市農業センターで四日市温室園芸組合主催の第62回シクラメン品評会が開催されました。会場には丹精込めて育てられた彩り豊かなシクラメンがたくさん並べられ、華やかな香りに包まれていました。品評会が終了した後は、同組合から市内の福祉団体にシクラメンが寄贈されました。

また、11月29日に同センターで行われた農業マルシェではシクラメンの即売会が行われ、大いに賑わっていました。シクラメンには様々な品種があり、1月以降も楽しむことができます。購入を希望される方は、市内の栽培農家から直接購入することができます。皆さんも、ご自宅の玄関やベランダにシクラメンを飾って、寒い冬の日常に彩りを添えてみてはいかがでしょうか。

主な内容

- 農業委員・農地利用最適化推進委員の推薦、応募について…P2、P3
- 農地貸借の申し込みはお済みですか？……………P4
- トラクタのシートベルト着用が義務化されます……………P5
- 農業者年金で安心・豊かな老後を……………P6

農業委員・農地利用最適化推進委員の推薦、応募について

現在の農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期が令和8年7月19日に満了となります。それに伴い、四日市市では次期の農業委員及び農地利用最適化推進委員について、次のとおり意欲ある方の応募や農業者団体等からの推薦を受け付けています。

1. 人数、資格、任期等

	農 業 委 員	農地利用最適化推進委員
募 集 人 数	19名	37名（37区域に各1名）
	農業委員会等に関する法律第8条第6項に基づく、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しない者1人を含みます。	区域ごとに1名を募集します。複数の区域へ申し込むことができますが、推進委員への就任は1区域のみです。区域については募集要項又は市のホームページを参照してください。
	農業委員及び農地利用最適化推進委員の両方に推薦又は応募することができますが、両委員を兼ねることはできません。	
応 募 資 格	農業に関する識見を有し、農地利用の最適化の推進に関する事項、その他農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができ、選任予定日において、次の資格要件を満たしている者。	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、選任予定日において、次の資格要件を満たしている者。
	・原則として四日市市に住所を有すること。 ・四日市市職員の一般職の職員でない者。 - ただし、次のいずれかに該当する者を除く。 ・破産手続き開始の決定を受け、復権を得ない者。 ・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。	
業 務 内 容	農業委員会の会議に出席し、農地法や他の法令に基づく農地の権利に係る許可等に関する審議を行います。 また、農地利用最適化推進委員と連携し、農地等の利用最適化の推進に向けた活動を行います。	担当する区域で農業委員と連携し、農地等の利用最適化の推進に向けて、主に以下の活動を行います。 ・担い手への農地の集積・集約化。 ・遊休農地の発生防止・解消。 ・農業への新規参入の促進。 ・農地中間管理機構との連携・協議。 ・貸与されたタブレット端末を活用した実地調査及び活動報告。
任 期	令和8年7月20日～令和11年7月19日（3年間）	
身分及び報酬	四日市市の特別職の非常勤職員として月額28,900円（予定）	

2. 推薦・応募の方法

(1) 推薦・応募する書類の配布

配布期間

令和7年12月19日（金曜日）から令和8年1月13日（火曜日）

配布場所

四日市市商工農水部農水振興課、農業委員会事務局（市役所7階）及び各地区市民センター

※四日市市のホームページ（<https://www.city.yokkaichi.lg.jp>）からもダウンロードできます。

(2) 書類の提出先

①農業委員

四日市市商工農水部農水振興課（市役所7階）☎059-354-8180

②農地利用最適化推進委員

四日市市農業委員会事務局（市役所7階）☎059-354-8271

(3) 推薦・応募受付の締切

令和8年1月13日（火曜日）17時15分必着 持参又は郵送により提出してください。

注1 郵送又は地区市民センターを経由する場合は、期日必着

注2 持参される場合は、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日並びに年末年始（12月29日から1月3日）には提出することはできません。

3. 情報の公表

募集期間の中間時点（1月初旬）及び期間終了後（1月中旬）に、四日市市のホームページで、提出された書類をもとに住所と連絡先を除いて氏名・年齢などの情報を公表します。

4. 選考方法

(1) 農業委員について

①四日市市農業委員会委員候補者選考委員会を開催し、提出された推薦・応募書類等をもとに選考します。

なお、必要に応じて面接等を行う場合があります。

②選考にあたっては、認定農業者が過半数を占めるように選考するとともに、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しない者が含まれるよう選考します。

③選考された候補者については、市議会の同意を得たうえで、令和8年7月20日に農業委員会委員に市長から任命されます。

(2) 農地利用最適化推進委員について

①四日市市農地利用最適化推進委員候補者選考委員会を開催し、提出された推薦・応募書類等をもとに選考します。なお、必要に応じて面接等を行う場合があります。

②選考された農地利用最適化推進委員は、新たに任命された農業委員で組織する農業委員会から委嘱されます。

農地貸借の申し込みはお済みですか？

（公財）三重県農林水産支援センターが仲介する農地中間管理事業法による農地の貸し借り（旧利用権設定）の締切が迫っています！

昨年度よりも締切が早くなっていますのでご注意ください！

令和8年6月1日契約開始分の締切は**令和8年2月9日(月)**です！

※四日市市では、農地中間管理事業法による農地の貸し借りの手続きの受付は年2回となっています。



野外焼却は禁止されています

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、野外焼却や基準に適合しない小型焼却炉を使用したごみの焼却は禁止されています。ごみを焼却すると、煙や灰が発生し、悪臭がするなど、近隣の人に迷惑が掛かりますのでやめましょう。

なお、例外としてあぜ草など野外焼却が認められているものであっても、火の粉が飛び散り、草が想定以上に燃えてしまうことで、野焼きが燃え広がってしまい、火災になることがあります。あぜ草などの野焼きを行う時には、風の強い日は避ける、少しずつ燃やす、水バケツ等の消火器具を必ず準備する、その場を離れないなど、火災予防に努めましょう。また、稲わらやもみ殻は貴重な有機資源です。水田へのすき込みや、たい肥化などによる土づくりに有効活用しましょう。

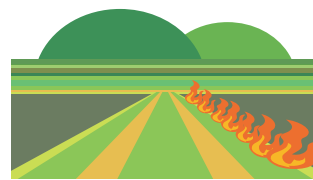
野外焼却が認められているもの



風俗慣習上または宗教上の行事における「しめ縄、門松」などの焼却



たき火やキャンプファイヤーなどの木くずなどの焼却



あぜ草や下草の焼却など、農業または林業を営むためにやむを得ないもの

〈野外焼却についてのお問い合わせ先〉廃棄物対策室 電話番号/059-354-4415

遊休農地の所有者の方へ 農地の利用意向調査を実施しています

昨年8月～9月にかけて、農地利用最適化推進委員、農業委員および事務局職員が市内の農地について利用状況の調査（農地パトロール）を実施しました。この調査で遊休農地であると判断した農地について、昨年11月上旬に、所有者に対して郵便にて調査票を送付し、今後の農地利用についての意向調査を行っています。

回答がお済みでない場合は、四日市市役所7階 農業委員会事務局の窓口まで調査票をご提出ください。



冬の農作物を食べて、寒さに負けない風邪予防をしましょう！



令和7年9月22日に発表された気象庁の寒候期予報によると、令和7年12月から令和8年2月までの気温は平年並みとなる見込みです。

トラクタのシートベルト着用が義務化されます

農耕作業用特殊車の道路上における死亡事故は転倒・転落によるものが多く、特に乗用型トラクタの死亡事故が多くなっています。このような死亡事故を防ぐためには、シートベルトの着用が有効であるとされています。

道路運送車両の保安基準が改正され、**令和9年1月1日以降に製造される乗用型トラクタ**で道路走行する際にはシートベルト着用が義務となります。違反の場合、シートベルトの着用義務違反として、点数1点が付されます。詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。



第62回シクラメン品評会の受賞者を紹介します



四日市市長賞 鈴木 雅也さん(三重郡朝日町)
 菰野町長賞 鈴木 雅也さん(三重郡朝日町)
 朝日町長賞 増田 康典さん(三重郡菰野町)
 中日新聞社賞 田川 忠彦さん(水沢野田町)
 四日市鈴鹿地域農業改良普及センター長賞 増田 康典さん(三重郡菰野町)
 三重県農業共済組合長賞 徳丸 文彦さん(野田二丁目)
 三重北農業協同組合長賞 鈴木 雅也さん(三重郡朝日町)
 四日市温室園芸組合長賞 徳丸 文彦さん(野田二丁目)



令和7年8月～11月の主な農業委員会活動を紹介します。

月 日	活動内容	参加者数	月 日	活動内容	参加者数
R7. 8.15	月例総会	農業委員 15名	R7.10.30	農地利用最適化推進会議	農地利用最適化推進委員 31名
R7. 9.12	月例総会	農業委員 18名	R7.11.17	月例総会	農業委員 15名
R7.10.9	運営委員会	農業委員 5名	R7.11.17	編集委員会	農業委員 3名
R7.10.15	月例総会	農業委員 17名	R7.11.17	農業委員研修会	農業委員 8名 農地利用最適化推進委員 24名
R7.10.22	運営委員会	農業委員 5名	R7.11.26	運営委員会	農業委員 5名

※本市の農業委員会は、月例総会(許可申請等の審議など)、農地利用最適化推進会議及び年次総会(全体会)にて会議運営しています。

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が 加入 できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上65歳未満の方

※60歳以上65歳未満の方は国民年金任意加入被保険者に限ります。



◎ 積立方式 だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は いつでも変更 できます。

月々2万円※から6万7千円まで

※政策支援 (以下参照) の対象とならない方は1万円

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。

◎政策支援 (保険料の国庫補助) が受けられます。

例: 認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円 (5割) 補助

全国農業新聞



経営とくらしに役立つ情報をお届けします!

農家のための情報誌『全国農業新聞』

- ◆発行日/週一回(毎週金曜日)
- ◆発行元/全国農業会議所
- ◆購読料/月700円(送料、税込み)

○お申込みは、
農業委員会事務局まで ☎354-8271

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年の夏も記録的な暑さで辛い夏となりました。まさに異常気象そのもの。世間で「令和の米騒動」と呼ばれている、近年稀に見るコメ不足と価格の高騰は大きな社会問題となり未だに収まる気配がありません。農家にとって米価の買い取り価格の上昇はありがたいことではありますが、米は日本の主食であり、その価格高騰は消費者の家計に直接的な影響を与え、米離れが深刻化するのではないかと心配でなりません。どうか、今年は米価が穏やかな年となることを切に望むところです。

私たち農業委員は令和5年7月に就任し、今年で3年目を迎えます。現在、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足、担い手不足など深刻な問題を抱えています。これらの問題に対応するため令和5年4月に改正農業経営基盤強化促進法が施行され、「地域計画」を定めることが法定化されました。今まさに「地域計画」をより良いものとするため、市内各地域で協議を続けていただいているところです。持続可能な農業の実現のためにも、みなさまの積極的なご参加とご協力をお願いします。

〔農業委員会だより 編集委員会〕

奥山 邦典/森 勇志/古市 ひとみ



四日市市農業委員会憲章

私たち農業委員会は、誇りと責任をもち夢とゆとりのある明るい農業を育てるため、次のことを誓います。

- 一、明日のいのちを守る確かな農業をつくります。
- 一、水とみどりの農地を守りみのり豊かな農業をつくります。
- 一、担い手を育て活力ある農業をつくります。
- 一、消費者と心のかよい合う農業をつくります。
- 一、世界に目を向け新しい農業をつくります。

制定 平成三年六月六日